

カナダ感想文

3年 Yさん

ずっと夢見てきた海外留学に実際に行くことができ、本当に良かったと心から思います。出発前は、うまくやっていけるか、言葉が通じるのかと不安でいっぱいでしたが、実際に現地で生活してみると、その不安は次第に挑戦心へと変わっていきました。

まず最初に、ホストファミリーと過ごす中で、日本で習ってきた教科書の英語と、実際に日常生活で使われる英語が大きく違うことを実感しました。例えば、トイレを「bathroom」と言ったら通じず、「washroom」と言い直してやっと理解してもらえたことがありました。こうした小さな出来事を通して、教科書だけでは学べない「生きた英語」を体験することができ、とても貴重な経験となりました。ホストファミリーはいつも温かく接してくれて、食事を一緒に楽しんだり、買い物に連れて行ってくれたりする中で、英語を使うことへの抵抗が少しずつなくなっていったのを感じます。

次に、語学学校での学びも大きな財産になりました。そこではカナダ人だけでなく、インドや中国、フィリピン、韓国など多様な国から来たクラスメイトと一緒に授業を受けました。最初はディスカッションで発言する勇気が出ず、黙ってしまうことも多かったのですが、「このままでは何も得られない」と思い、先生に質問したり、クラスメイトに積極的に話しかけたりするようになりました。授業中にお菓子を食べながら議論を交わす自由な雰囲気や、意見を遠慮せず伝える積極性など、日本の学校とは全く異なる学びのスタイルを体感しました。お互いの文化や価値観を話し合う中で、異文化理解の大切さを強く感じると同時に、自分の考えをしっかりと伝える姿勢の重要性を学びました。

最後に、ウィスラーでの体験は忘れられない思い出です。日本ではなかなか見ることのできない壮大な自然に囲まれ、空の青さや山々の迫力、そして広大な景色に圧倒されました。大自然の中で過ごす時間は、日常から解き放たれたように心がずっと軽くなり、同時に「世界は広い」ということを改めて実感させてくれました。

こうした自然体験もまた、留学ならではの魅力の一つだと思います。

この留学を通じて、言葉の壁や文化の違いに直面しながらも、自分なりに工夫して乗り越えることで、大きく成長できたと感じています。

本当に楽しく、かけがえのない経験をすることができました。これからもこの経験を生かして、さらに挑戦を続けていきたいと思っています。

1年 Mさん

私はこのカナダ留学を通して、異文化理解、多様性への寛容さ、自分から行動することの大切さ、コミュニケーション力、問題解決力など、本当に多くのことを学びました。今回はその中でも、「多様性への寛容さ」と「自分から行動することの大切さ」についてお話ししたいと思います。

まず、多様性への寛容さについてです。カナダでは、さまざまな背景を持つ人々が共に生活しており、文化や価値観、見た目や考え方が非常に多様でした。特に語学学校では、世界中から来た学生たちと交流する機会がありました。

同じクラスにいた韓国の学生と、日本と韓国の学校行事の違い、例えば体育祭や文化祭について話し、お互いに驚いたり感心したりしました。こうした交流を通じて、違いを楽しむことの大切さを学びました。

また、街を歩いていると、服装などから一人ひとりの個性が強く感じられました。日本では少し奇抜に見えるような格好をしている人もいましたが、カナダではそうした服装も自然に受け入れられていて、それぞれが自分の好きなスタイルを楽しんでいるように見えました。もちろん、日本の「協調性を大切にする文化」も素晴らしいと感じていますが、それと同時に「個性を尊重すること」の大切さを改めて実感しました。髪の色や肌の色、見た目だけで人を判断せず、その人の中身や行動を見て評価するという文化が、カナダではより根づいているように感じました。

次に、「自分から行動することの大切さ」についてです。

言葉や文化の壁がある中で、黙っているだけでは何も始まりませんでした。自分から話しかけたり、質問したり、助けを求めたりすることで、相手との距離が縮まり、少しずつ自信もついてきました。初めは勇気がいりましたが、行動することで得られるものの大きさを実感しました。

例えば、学校帰りにみんなでマクドナルドに寄った時のことです。セルフレジを使った際、レシートが出てこないというトラブルがありました。レシートに記載された番号が呼び出しに使われるため、それがないと自分の注文が呼ばれても分からないという状況に陥りました。

私は近くにいた店員さんに声をかけてみました。日本なら、店員さんが最初から一緒に対応してくれることが多いと思いますが、カナダではそうではありません。最初に聞いたときは、レジの方を指さされただけで、説明はほとんどありませんでした。ですが、それでは理解できなかったため、もう一度勇気を出して質問しました。すると、今度は丁寧に教えてくれました。

この経験を通して、「わからないことをそのままにせず、わかるまで聞くこと」「助けを求める勇気」がとても大切だということを学びました。

このような経験を通して、今後は日本だけの考え方も忘れずに、海外の個性を尊重する価値観も自分の大切な財産として今後の生活に取り入れていきたいと思っています。

2年 Aさん

私は今回のカナダでの語学研修を通して、たくさんのことを学び、自分自身の変化を感じることができました。最初は英語がちゃんと通じるか、ホストファミリーや現地の人たちとうまく関われるか、不安でいっぱいでした。でも、実際に話してみたら、思っていたよりもちゃんと伝わって、「伝えたい」という気持ちさえあれば、言葉が完璧じゃなくても伝わることもあるんだと感じました。また、現地ではいろんな国の人たちと交流する機会があって、それがとても楽しかったです。

LCI では、授業が全部英語だったし、初めましてのひとがたくさんいたので、最初はとても緊張しました。でも、周りの生徒たちがフレンドリーに話しかけてくれたおかげで、少しずつ慣れてきて、自分からも声をかけてみようと思えるようになりました。特にグループワークの授業では、英語で意見を伝えることの難しさや大切さを感じました。「もっと話せたら、もっと伝えられるのに」というもどかしさもありましたが、それがきっかけで語彙力や表現力の大切さに気づくことができました。

ビーチで遊んだときには、メキシコ、ブラジル、韓国、日本など、いろんな国の人たちが集まっていて、たくさん遊んで、すごく楽しい時間を過ごしました。国も文化も違うのに、みんなで自然に笑い合える雰囲気はすごくよくて、「文化の違いってこんなに面白いんだな」と思いました。今までは、文化が違うと関わるのがちょっと不安だったけど、この経験を通して、違う「からこそ関わってみたい」と思えるようになりました。でも、うまくいかなかったこともありました。やっぱり語彙力がまだまだ足りなくて、相手が話していることはなんとなくわかって、自分の言いたいことを英語にできずに黙ってしまったり、翻訳機を頼ってしまうことが多かったです。そのたびに、もっと単語を知っていたらって思ったし、もっと自分から積極的に話しかける勇気が必要だと感じました。間違えてもいいから、とにかく話してみることが大事だと、現地での経験を通して学びました。今回の研修を通して、少しだけ自分に自信がついたと同時に、自分に足りないところもたくさん見えてきました。また、英語や異文化に対する考え方も研修前と比べて、もっと深く考えられるようになりました。

これからはもっと語彙力を増やして、自分の言葉でしっかり伝えられるように頑張りたいです。そしてまた、いろんな国の人たちと交流できるような環境にチャレンジしていきたいです。